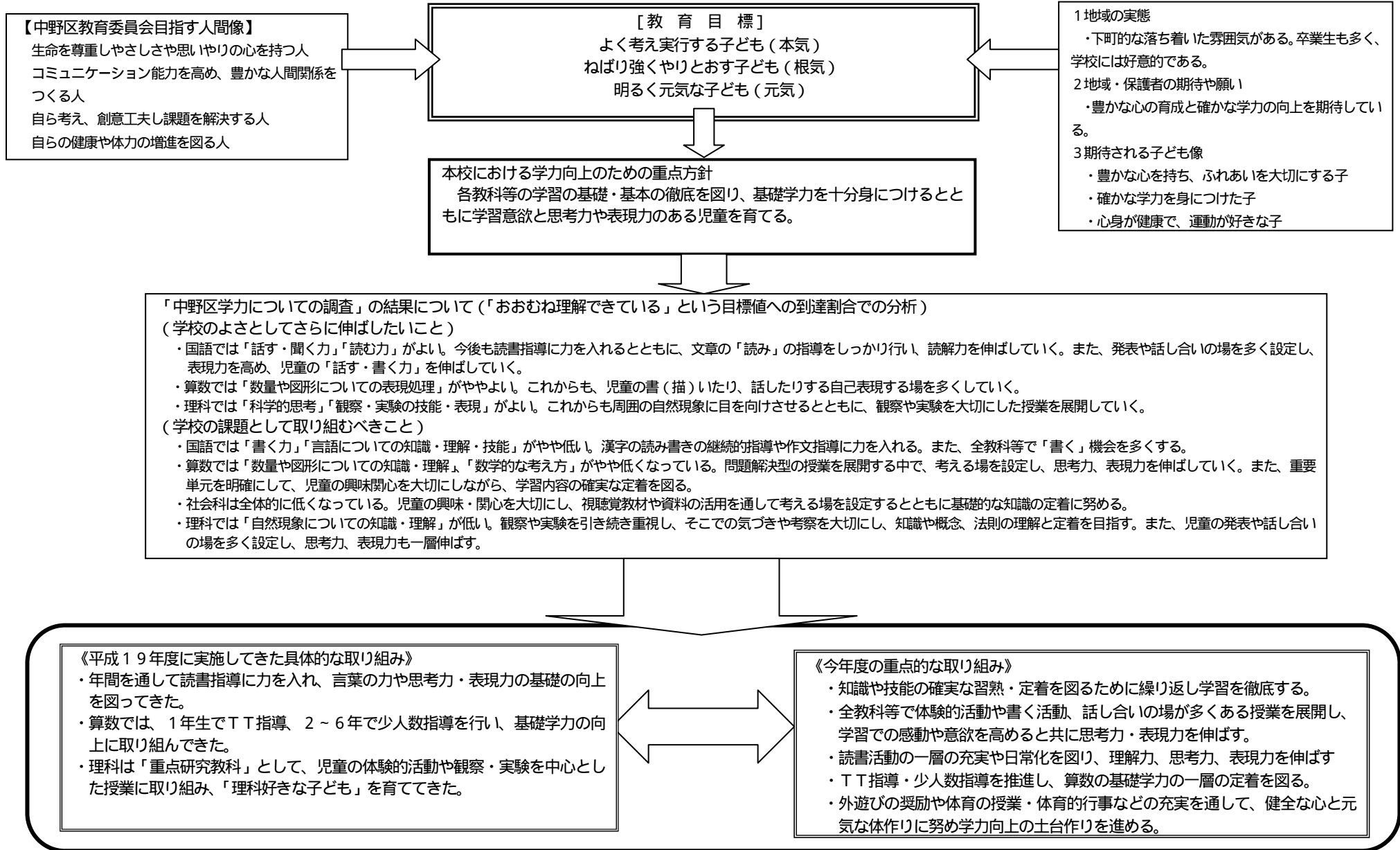


中野区立中野神明小学校「平成20年度・学力向上（授業改善）プラン」4月版



【中野区教育委員会目指す人間像】
生命を尊重しやさしさや思いやりの心を持つ人
コミュニケーション能力を高め、豊かな人間関係をつくる人
自ら考え、創意工夫し課題を解決する人
自らの健康や体力の増進を図る人

〔教育目標〕
よく考え実行する子ども（本気）
ねばり強くやりとおす子ども（根気）
明るく元気な子ども（元気）

1 地域の実態
・下町的な落ち着いた雰囲気がある。卒業生も多く、学校には好意的である。
2 地域・保護者の期待や願い
・豊かな心の育成と確かな学力の向上を期待している。
3 期待される子ども像
・豊かな心を持ち、ふれあいを大切にする子
・確かな学力を身につけた子
・心身が健康で、運動が好きな子

本校における学力向上のための重点方針
各教科等の学習の基礎・基本の徹底を図り、基礎学力を十分身につけるとともに学習意欲と思考力や表現力のある児童を育てる。

「中野区学力についての調査」の結果について（「おおむね理解できている」という目標値への到達割合での分析）
（学校によさとしてさらに伸ばしたいこと）
・国語では「話す・聞く力」「読む力」がよい。今後読書指導に力を入れるとともに、文章の「読み」の指導をしっかり行い、読解力を伸ばしていく。また、発表や話し合いの場を多く設定し、表現力を高め、児童の「話す・書く力」を伸ばしていく。
・算数では「数量や図形についての表現処理」がややよい。これからも、児童の書（描）いたり、話したりする自己表現する場を多くしていく。
・理科では「科学的思考」「観察・実験の技能・表現」がよい。これからも周囲の自然現象に目を向けさせるとともに、観察や実験を大切に授業を展開していく。
（学校の課題として取り組むべきこと）
・国語では「書く力」「言語についての知識・理解・技能」がやや低い。漢字の読み書きの継続的指導や作文指導に力を入れる。また、全教科等で「書く」機会を多くする。
・算数では「数量や図形についての知識・理解」「数学的な考え方」がやや低くなっている。問題解決型の授業を展開する中で、考える場を設定し、思考力、表現力を伸ばしていく。また、重要単元を明確にして、児童の興味関心を大切にしながら、学習内容の確実な定着を図る。
・社会科は全体的に低くなっている。児童の興味・関心を大切に、視聴覚教材や資料の活用を通して考える場を設定するとともに基礎的な知識の定着に努める。
・理科では「自然現象についての知識・理解」が低い。観察や実験を引き続き重視し、そこでの気づきや考察を大切に、知識や概念、法則の理解と定着を目指す。また、児童の発表や話し合いの場を多く設定し、思考力、表現力も一層伸ばす。

《平成19年度に実施してきた具体的な取り組み》
・年間を通して読書指導に力を入れ、言葉の力や思考力・表現力の基礎の向上を図ってきた。
・算数では、1年生でTT指導、2～6年で少人数指導を行い、基礎学力の向上に取り組んできた。
・理科は「重点研究教科」として、児童の体験的活動や観察・実験を中心とした授業に取り組み、「理科好きな子ども」を育ててきた。

《今年度の重点的な取り組み》
・知識や技能の確実な習熟・定着を図るために繰り返し学習を徹底する。
・全教科等で体験的活動や書く活動、話し合いの場が多くある授業を展開し、学習での感動や意欲を高めると共に思考力・表現力を伸ばす。
・読書活動の一層の充実や日常化を図り、理解力、思考力、表現力を伸ばす
・TT指導・少人数指導を推進し、算数の基礎学力の一層の定着を図る。
・外遊びの奨励や体育の授業・体育的行事などの充実を通して、健全な心と元気な体作りに努め学力向上の土台作りを進める。

教科等の授業充実・改善の重点

教科等	充実・改善点	教科等	充実・改善点
国語	<ul style="list-style-type: none"> 理解を深めあうために、子ども同士で交流する場を多くする。 授業の導入、展開を工夫し、児童の学習への関心・意欲を高める。 	音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を生涯学習の一つとして、取り組めるように、基礎基本を大切にした授業を行う。また、児童が互いに認め合い、高め合っていけるよう小アンサンブルや合奏の授業を大切にしていく。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 調査したり、地図や図表などの資料を効果的に活用する力を育てる。 調べたことを表現方法を工夫しながらまとめたり、発表する力を育てる。 	図工	<ul style="list-style-type: none"> 表現及び鑑賞の活動の充実を通して、コミュニケーション能力 情報の授受と発信 の基礎となる感性を養う。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 数学的な考え方を伸ばすため、自分の考えを図や言葉で表現していく機会を増やす。また、各学年のつながりを見通した指導を工夫し、基礎的な知識や技能の習熟に努める 	家庭	<ul style="list-style-type: none"> 衣食住での自立を目指し、体験的な学習を通して基礎的な生活技能が身に付くような指導計画を立て、実践する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 事象提示の工夫など見方や考え方を深め合う学習過程にする。 観察や実験の記録や発表、まとめ方など児童の見方考え方を引き出す授業を展開する。 	体育	<ul style="list-style-type: none"> 年間指導計画を元に十分な運動量を確保する授業を行う。 体を動かす心地よさを感じたり、友達との関わりの中で楽しんだりしながら運動に取り組めるようにする。
生活	<ul style="list-style-type: none"> 飼育、栽培、製作、遊び、表現など様々な体験的活動や人、自然、社会と直接ふれあう学習活動を展開する。 	総合	<ul style="list-style-type: none"> 人、地域、社会との関わりを重視した授業を展開していく。 自ら課題を見つけ進んで解決していく力や態度を育てる。 コミュニケーション能力を育てるため、英語活動を継続的に行う
その他（道徳・特別活動等） <ul style="list-style-type: none"> 道徳では体験的活動など指導法を工夫し、道徳的判断力や実践力を育てる。 特別活動では、縦割り班活動などを通して、自主的な行動力や協調性、連帯感を育てる。 		家庭との連携 <ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣の確立（特に早寝・早起き・朝ご飯）、家庭学習の励行、外遊びや運動の奨励など、家庭での取り組みの啓発や家庭との連携を継続的に行う 	